

研究課題：悪性リンパ腫に関する匿名化既存データを用いた後方視的探索的研究

研究の趣旨：悪性リンパ腫の病態を調査することは、適切な治療方針の探索のために重要なことです。私たちはこれまでに多くの悪性リンパ腫の病型に対して調査研究を実施してきました。そのうち下記のは、重要な成果を挙げて論文として公表されています。しかしながら、こうした論文ですべてを評価しきれていないとは限らず、同じデータを用いた追加の解析、当初想定されていなかった因子に対する解析、他の調査データと合わせた併合解析などで重要な知見が得られることがあります。本研究の目的は、既存論文で使用された匿名化データから、さらに重要な結果が得られるかを探索的に解析することです。

研究の目的：本研究の目的は、日本の悪性リンパ腫のデータをさらに吟味し、これまで報告のなかった観点からの検討を行うことです。具体的には、以下のようなものが考えられます。(1) 限局期例などのサブグループ解析により、最初の報告に含められなかった疾患の特徴を見出す。(2) 特定の表面マーカーや EB ウイルスなど、他のグループによって報告された予後因子の検証と、既存の因子の組み合わせによる探索的な解析を実施する。(3) 再発・難治例に限った、再発・難治と判明した時点を起算日とする予後を解析する。(4) その他、登録データの探索的な解析。こうした解析により日本の悪性リンパ腫の特徴を明らかに、今後の患者さんの治療成績の向上に資することが最終的な目的です。

研究の方法：既に収集された連結不可能匿名化データを用い、後方視的に記述疫学的手法で解析を行います。全体および病型別などのサブグループごとに、背景因子などを集計してまとめます。群間比較は、 χ^2 乗検定、Fisher 検定、Mann-Whitney 検定などで行う。全体およびサブグループによる生存率は Kaplan-Meier 法で解析し、Logrank 法で比較する。多変量解析は、Cox の比例ハザードモデルを用います。

研究機関：島根大学以外に、全国の悪性リンパ腫診療施設のデータを用います。

連絡先：本研究に関する連絡先は以下の通りです。本研究は匿名化データを使用していますので、個人情報漏洩の危険はありません。本研究における情報の使用に関し疑問がある方は遠慮なくご連絡下さい。

島根大学医学部附属病院 腫瘍センター/腫瘍・血液内科 鈴木律朗

〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2517

FAX: 0853-20-2525